

- ② 地層と地層の境に、層理がよく発達しているのがみられます。

2. 川原のようすと流水のはたらき

- (1) 調べる場所

仁井田川の合流点より 200 m 下流の川原

- (2) 土手の上から、川原や水の流れを観察する。

- ① はらん原（一段と高い川原）や川原、川の流れなど全体をスケッチする。

- ② 川原は、水の流れが曲がっている内側にできているか、外側にできているか。

- (3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

- ① 川原の近くと向かい岸の近くで、水の流れはどうか。20 m の長さを測って速さを調べる。

- ② 川岸から向かい岸に進むにつれて深さはどう変わっているか。また、水中のぞき箱で川底のレキの大きさの変化や、川底の近くを砂が流されているようすなど調べる。

- ③ 川の向かい岸の方には、川原がなく、岸がけずられているのはどうしてだろうか。

- (4) 川原のレキを調べる。

- ① 川原でのレキや砂のつもり方が平均しているところを選んで、1 m 四方の

